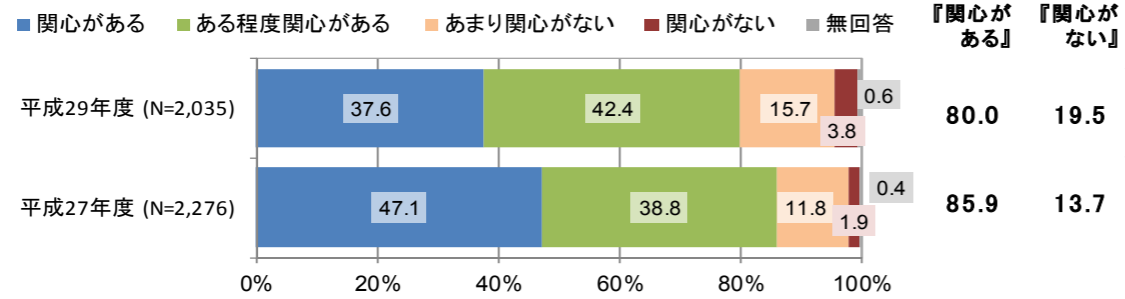


体感治安に関する県民の意識調査結果（概要版その1）

■ 治安への関心度

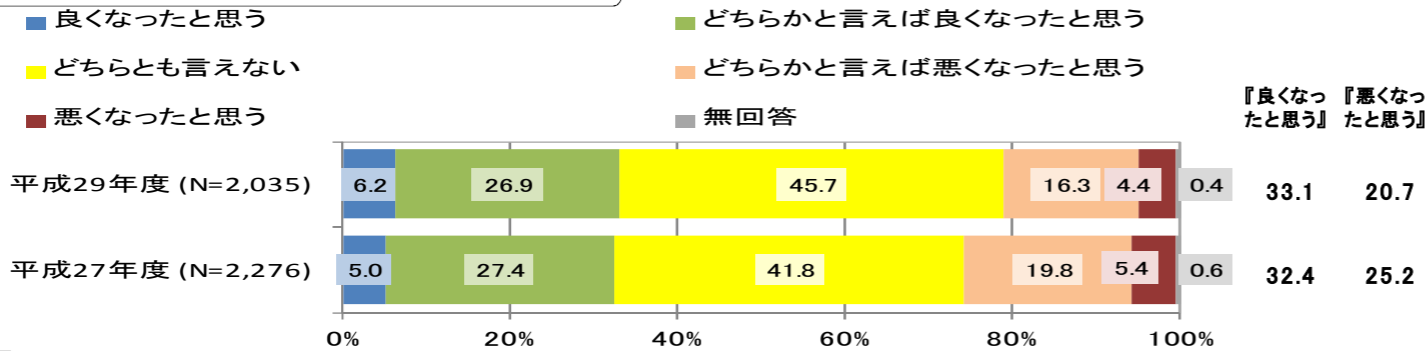


特徴

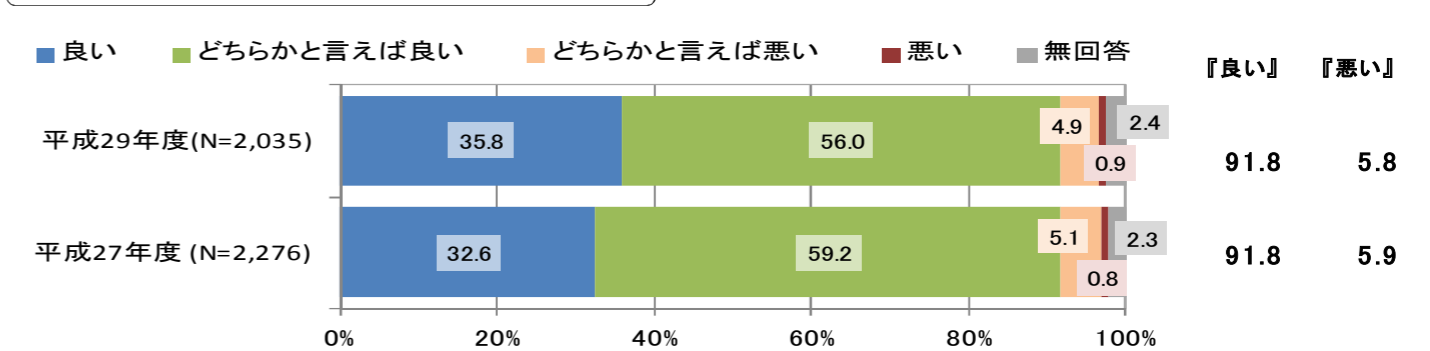
- ・ 治安への関心度は、回答者の80.0%が『関心がある』（「関心がある」+「ある程度関心がある」）と回答しているほか、前回（平成27年度）結果より、『関心がある』が約6ポイント減少し、関心度はわずかに下がっている。
- ・ 年代別で見ると、年代が高くなるほど、『関心がある』の割合も高くなっている。10歳代では『関心がある』が35.9%と、他の年代に比べて特に低くなっている。
- ・ 職業別で見ると、公務員・団体職員、農林水産業（又は家族従業員）、パート・アルバイト、無職及び家事専業で『関心がある』の割合が全体より高くなっている。年代別同様、若年層である学生の関心度は5割未満と低くなっている。
- ・ 居住地域別で見ると、山鹿・菊池・合志、上益城・下益城、八代及び水俣・芦北で『関心がある』が80%を超えており、他地域に比べて関心度が高くなっている。

■ 治安についての体感

○ 熊本県の治安についての体感



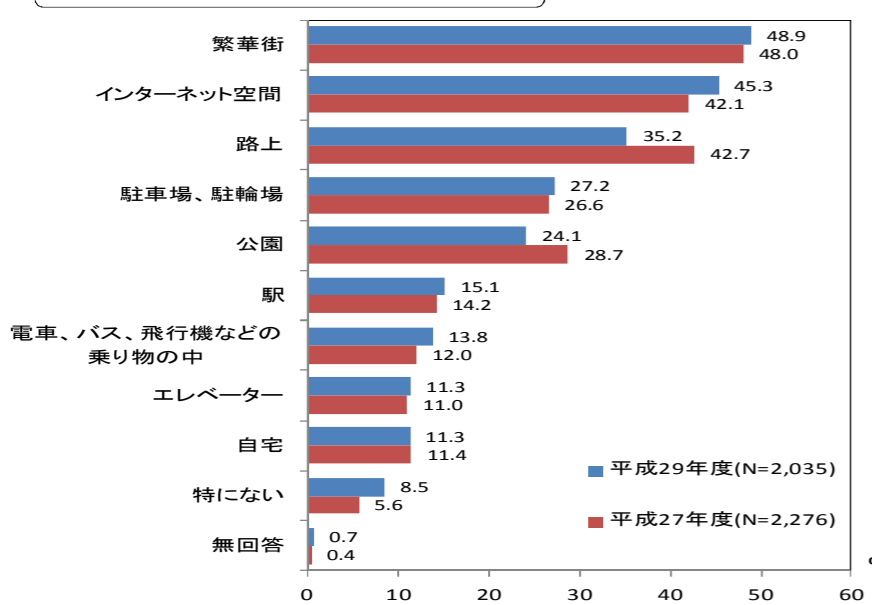
○ 居住地域の治安についての体感



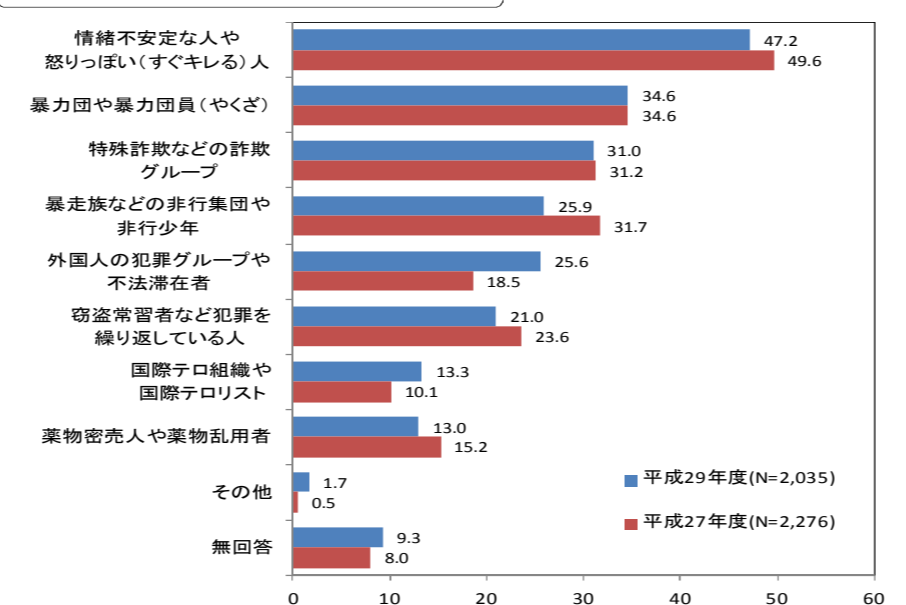
- 特徴
- ・ 県内の治安の体感は、『良くなったと思う』（「良くなったと思う」+「どちらかと言えば良くなったと思う」）とする回答が前回調査時に比べ高くなっている。
 - ・ 性別で見ると「良くなったと思う」のみの回答が男性で40.1%であるのに対し、女性では25.0%にとどまり、女性層での治安の不安感が高い。
 - ・ 居住地域の治安についての体感は、『良い』（「良い」+「どちらかと言えば良い」）とする回答は、前回調査時と変わらず、90%を超える結果（91.8%）となっている。

■ 犯罪に対する不安

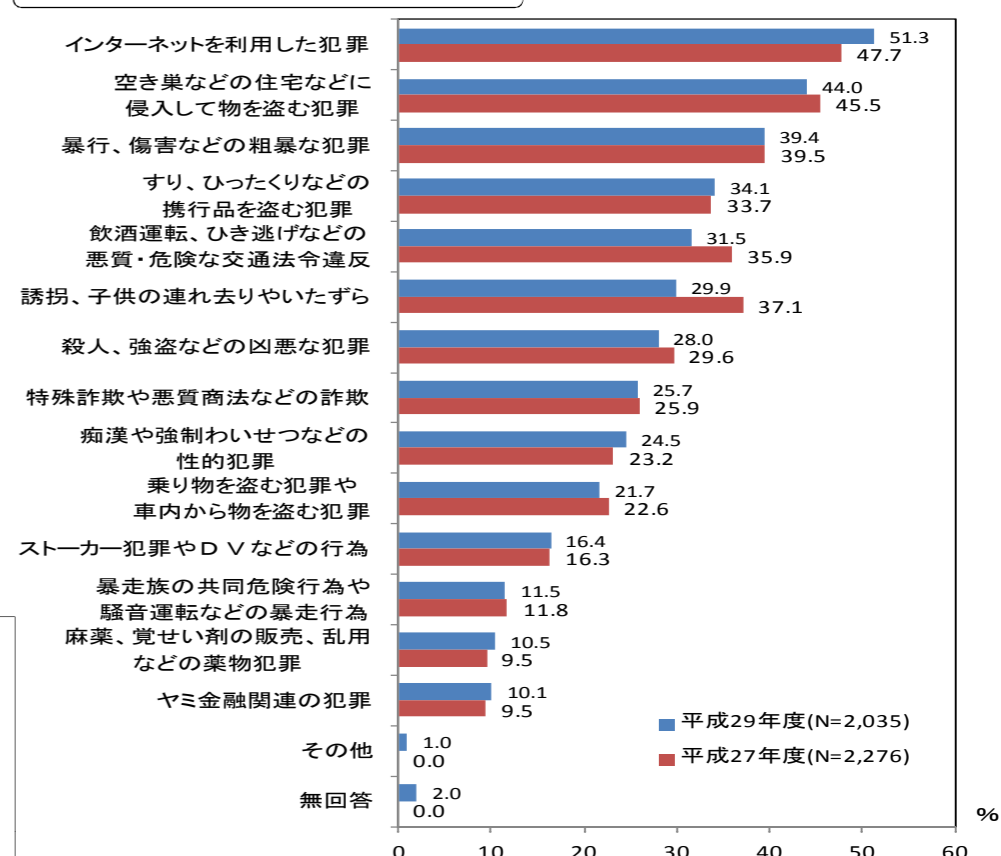
○ 不安になる場所



○ 不安になる組織や個人



○ 不安になる犯罪



- 特徴
- ・ 犯罪に遭うかもしれないと不安になる場所は、「繁華街」を除く全ての場所で男性より女性の方が多く不安を感じている。また、職業別に見ると、公務員・団体職員において「インターネット空間」とする回答が他の職種より18ポイント以上高い。
 - ・ 犯罪に巻き込まれるかもしれないと不安になる組織や個人は、「情緒不安定な人や怒りっぽい(すぐキレる)人」が最も多く、男女別では女性が、年齢別では30歳代から50歳代が、職業別では公務員・団体職員、パート・アルバイト及び家事専業において多い。
 - ・ 犯罪に遭うかもしれないと不安になる犯罪は、「インターネットを利用した犯罪」等が前回調査時と同様に多くなっている。また、「誘拐、子供の連れ去りやいたずら」は前回調査時から減っているものの、年代別では30歳代が、職業別では家事専業において5割と高い。